



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第 11 号 2021 年 5 月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1 年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI 会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して 2 部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース 5 月号へようこそ。このニュースによって、さまざまな寄稿者による記事や最新情報を通じて、皆さまに情報をお届けできることを願っています。

今号には、「YIA」(ユースの参画、活動)、「Week4Waste」(W4W)の幾つかの好事例、「IHQ からのニュース」そして「良い話を伝えよう」を掲載しています。

先月、W4W のプロジェクトが始動しました。多くのクラブがアドバイスに沿って、若者たちと一緒に地元のゴミを拾いました。どれだけのゴミが回収されたかを聞くのが楽しみです、W4W の委員長のウルリク・ラウリドセン(chrulrik@hotmail.com)宛に皆さんが送られる写真を見るのも楽しみにしています。

多くの区や部では、5 月、6 月、7 月に大会の開催を予定しています。そのうちのいくつかはバーチャルで、いくつかは必要な制限を設けて対面式で、また、いくつかはバーチャルと対面式をミックスした大会となるでしょう。新型コロナウイルスのパンデミックにもかかわらず、今年の大会に皆さんが満足されることを願っています。

各委員会やタスクフォースでは素晴らしい活動が行われています。ジュネーブに IHQ のための不動産を購入するための資金をどれだけ集められるでしょうか？ PWAF レガシー基金への新たな取り組み、100 周年記念行事、2022 年にハワイで開催される国際大会、「YMI - 2022 年とその先に向けて」のアンケート調査、そして、種々のマニュアルの整備など…。私たちは、全速力で動いている「運動」です。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQ からのニュース 2021 年 5 月

下半期分の国際会費を速やかにお支払いいただいたすべてのクラブと区に感謝の意を表します。

YIA 国際事業主任と IYR (国際代表ユース) は、ユースメンバーを強化するために最善を尽くして、すべてのクラブに対して、クラブまたは YMCA に付属したワイズユースクラブを設立することを検討することを要請しています。ユースクラブの設立方法の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

国際的な奉仕団体として、グローバルなイメージを強化することは、私達の運動の成長にとって非常に重要です。私たちは、最近、「グローバルファンド」の主要パートナーや世界 YMCA 同盟とともに、「グローバルファンド」が世界各地で行っている新型コロナウイルス、マラリア、結核、HIV/AIDS との闘いに資金援助を行うよう米国議会に請願しました。この取り組みは、成功し、米国政府は、「グローバルファンド」の目標達成のために 35 億米ドルの支援を約束しました。(詳細は、[こちら](#))

国際議会は、先日、クラブ拡張および会員維持/増強、ブリテン編集者、ユース代表のための各マニュアルの改訂を承認しました。これらのマニュアルは、[こちら](#)からご覧いただけます。クラブ、部、区、地域は、それぞれの活動にこれらのマニュアルを活用することをお奨めします。

私たちの運動は、さまざまなレベルで、創立 100 周年を祝う年に向けて準備を進めています。米国では、2021 年 5 月 15 日にニューヨークで開催される北大西洋区大会で祝賀行事が開始されますが、世界中の関心のある会員がバーチャル参加者としてこのイベントに立ち会うことを歓迎しています。参加を希望される方は、事前登録をお願いします。事前登録は、[こちら](#)をクリックして行ってください。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

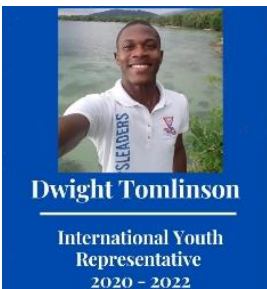
5月強調月間テーマ 「YIA - ユースの参画、活動」



YMI で若いリーダーたちと一緒に働くことは、私にとって刺激的でやる気を起こさせることであり、1年間国際事業主任を務めていることを光栄に思っています。新型コロナウイルスのパンデミックが始まって以来、世界中のユースが大きな打撃を受けています。学校が閉鎖されたり、不平等がこれまで以上に明らかになったり、特にテクノロジーの格差が強調されています。また、若者は、仕事を失い、精神的な健康を損ねるなどの影響を受けています。



しかし、YMI では、昨年、ユースの Facebook グループを開設し、また、10 以上のオンライン会議（1対1および多数の参加者によるグループ）を組織して以降、ユースがより大きな役割を果たすようになりました。オンラインの



プラットフォームを利用してコメントしたり、新しいアイデアを取り入れたりしました。YMI のスタッフと一緒に、世界中のさまざまなクラブの若者たちのデータベースを作成し、彼らの活動や参加状況をより明確にすることができました。

私たちは、新しい国際ユース代表を選出しました。素晴らしい若きリーダー、ドワイト・トムリンソンで、2022 年まで務めます。

2021 年は、Week4Waste の活動に若者が積極的に参加する年になります。写真は、Facebook グループをご覧ください。

国際 YIA 事業主任 ドリーナ・ルルカ・デイヴィス

Week4Waste の報告—インターネットからの再録

ボリビア

コチャバンバ Y サービスクラブのメンバーは、市の中心部を通り、市民の肺となっている川の清掃作業を行うという、地元



の自治体が推進する重要な活動に参加しました。

ノルウェー

マンダルワイズメンズクラブのメンバー（と1匹の犬！）は、プラスチックを集めるためにノルウェーの南端に行きました。その結果、125 キロという大量のプラスチックが見つかりました。

この美しい島の湾は、夏の観光客が泳いだり日光浴をしたりするための準備が整いました。クラブは、楽しくて素敵な時間を過ごし、



バーベキュー、イースターソング、祈りで締めくくられました。

スロベキア

リプトフスキー・ミクラシュワイズメンズクラブのメンバーとその家族は、70 キロのゴミを回収しました。彼らは、敬虔な場所である軍事墓地 Háj Nicovô の



周辺を清掃しました。観光客がよく訪れる場所で、周りの山、水、田園風景の美しい景色が見られます。

ナイジェリア

イケジャワイズメンズクラブは、オニグボングの市場とその周辺を徹底的に清掃しました。市場の女性や住民にゴミ用ナイロン袋を配布し、環境



の改善を促しました。また、廃棄物を適切に処理するために、廃棄物運搬車を雇いました。市場の女性やコミュニティの住人から喜びの声があがりました。まさに人類への奉仕活動です



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



養護施設卒園生の成人式支援

西日本区・京都ウエストワイズメンズクラブは、クラブ設立40周年の記念事業のひとつとして、クラブ創立以来支援している養護施設の徳義会と相談し、2021年1月

11日、その施設の卒園生のユースの「めぐみちゃん」を支援して、成人式に送り出すことができました。成人式は、毎年1月に開催される日本の伝統的な行事で、20歳になった若者を祝います。式の参加者、特に女性たちは、着飾って参加するのが習わしです。

私たちは、彼女のために振り袖、小物、髪結い等を用意し、メンバーのご息子のプロのカメラマンが撮影を行いました。撮影終了後、彼女は、笑顔で、友人と成人式へと向かいました。振り袖姿の笑顔がとても印象的でした。

私たちは、これまで、職業訓練支援、職業講演会、スポーツを通じて施設の子供たちの成長を支援してきましたが、コロナ禍のロックダウンで、支援活動も制限されました。そのような中で、卒園生が困っているということを知り、5月と12月にはマスクや食料等を提供しました。そしてこの特別な支援を行なうことにもなりました。8月から打ち合わせや着物の準備を進めてきました。

後日、彼女から「皆さんの支援がなかったら成人式にも参加してなかった。」と言われ、力になれて良かったこと、ワイズ活動の素晴らしさを実感することができました。

京都ウエストワイズメンズクラブ
CS事業委員会委員長 林 正章



Tell a Good Story.



デンマークの代表的なクラブ

デンマークのケアロップワイズメンズクラブは、55年の歴史を持つクラブです。私たちは30人のメンバーから成る男女混合クラブです。デンマークのほとんどのクラブがそう

であるように、私たちの平均年齢は高く、約70歳です。しかし、それでも私たちは活発に活動を続けています。

私たちの募金活動は、国の祝日に町の中心部に国旗を飾ったり、クリスマスフェアでお祝いの飾り付け



の屋台を出したりしています。地元の老人ホームを、特に収穫の時期には、歌を歌って入居者を楽しませたり、ごちそ

うを用意したりして、支援しています。お年寄りや時には孤独な人たちが、

一緒に笑ったりおしゃべりしたりして楽しい時間を過ごすことが大切だと思っています。地元の教会では「TOF」のようなものがあります。教会の礼拝の後、

子どもたちのパーティーがあります。お菓子の入った樽を吊るして、子どもたちがお菓子や果物を取ります。毎年、私たちは孫と祖父母のためのキャン



プを企画しています。3日間一緒に過ごし、神様について聞いたり、一緒に遊んだり、歌ったり、様々な方法で楽しみます。

デンマークの多くのクラブと同様に、私たちもモルドバやスロバキアなど他の国にクラブを設立していま



す。モルドバのチシンサウにあるクラブとは交換訪問を行っています。このような交流により、ワイズメンズ

クラブ国際協会の国際的な側面についての認識が大きく向上しました。

ケアロップワイズメンズクラブ
ヨルン・スタデル・ピーターソン